

# News Release

日本をおいしくする

**SHOWA**

**昭和産業株式会社**

経営企画部

コーポレート・コミュニケーション室

〒101-8521 東京都千代田区内神田2丁目2番1号  
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成27年8月5日

## 昭和産業株式会社 平成28年3月期第1四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：岡田茂）の平成28年3月期第1四半期連結決算は、売上高620億28百万円、経常利益24億33百万円となりました。平成28年3月期通期連結業績予想については、売上高2,550億円、経常利益88億円を見込んでおります。

### 【平成28年3月期第1四半期連結決算】

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、政府による積極的な財政出動と日本銀行との協調によるデフレ脱却政策および経済成長戦略が実行されてきた中、消費者物価の緩やかな上昇が見られるなど国内景気の回復基調が続きましたが、欧州や中国等の経済先行きに不透明感が高まるなど海外景気の下振れリスクが依然存在する状況が続きました。

個人消費は物価上昇に伴う実質所得の減少を背景に、消費の回復には鈍い状況が続きました。また、食品業界においては、原材料価格の上昇などによる製品価格の値上げも発表されておりますが、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2012年（平成24年）よりスタートした「中期経営計画12-16」は4年目に入り、最終年度の目標である連結売上高2,680億円、連結営業利益、連結経常利益ともに100億円の達成に向け、6つの基本戦略「①基盤事業の持続的成長」「②新たな分野への挑戦」「③海外事業の強化」「④効率化の推進」「⑤グループ連携の強化」「⑥CSR経営の推進」の各種施策の推進に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き「①基盤事業の持続的成長」の基礎となる販売物量の拡大を推し進めるとともに、高止まりした原材料価格等に見合った製品価格の適正化に努めてまいりました。

「④効率化の推進」においては、鹿島工場等生産部門を中心にローコストオペレーションを推進いたしました。

一方、発送費の増加等により販売費及び一般管理費が、前年同期に比べ280百万円増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は62,028百万円と前年同期に比べ61百万円（0.1%）の減収となりました。営業利益は2,108百万円と前年同期に比べ901百万円（29.9%）の減益、経常利益は2,433百万円と前年同期に比べ1,011百万円（29.4%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,764百万円と前年同期に比べ556百万円（24.0%）の減益となりました。

**【平成28年3月期連結業績予想】**

第2四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成27年5月14日に公表した平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はなく、売上高2,550億円、営業利益80億円、経常利益88億円、当期純利益は57億円を見込んでおります。

以上

この件に関する報道関係者の方々のお問合せ先  
昭和産業株式会社 経営企画部  
コーポレート・コミュニケーション室（久慈、久田）まで  
TEL：03-3257-2042  
FAX：03-3257-2097